

2021年 消費マインド予測

2020.12 生活科学研究課

伝統と信頼で繋がる "Made in ローカル"

- ・消費者と生産者の距離が縮まり、 繋がることで高揚感が高まる。
- ・自然のままの食材を活かし、 足し引きが少ない食品を選択する。

デジタルで無限に広がる "健康セルフケア"

- ・オンライン診療や健康アプリの普及により、体内データに興味・関心が高まる。
- ・その時々の体調や摂取栄養にあわせて、 機能性表示食品やサプリメントの利用が広がる。

想食

革新と 新芽

共生する "個人的価値観"と"社会価値"

- 価値観が多様化し汎用は当たり前でなくなり、 パーソナライズされるものに惹かれる。
- ・エシカル消費、応援消費など、 背伸びせずに"社会貢献消費"が定着する。

"もったいない"が煌めく 生産と消費のバラ ・環境意識や節約志向の高まりを背景

- ・環境意識や節約志向の高まりを背景に、無駄のない消費が常識になる。
- ・ローリングストック、冷凍、「mottECO」などを 活用した、より賢い消費行動が増える。

生活習慣でつくる "ディフェンスエナジー"

- ・毎日の食事のバランスや質を見直し、 食事で自己管理が強化される。
- ・食事、運動、睡眠などの生活習慣に加え、 娯楽探索で免疫力活性化意識が高まる。